2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所

東

コード番号 9996

表 者 (役職名) 代表取締役社長

URL http://www.satoh-web.co.jp

(氏名) 古山 眞佐夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 下山田 信一

(TEL) 022-236-5600

半期報告書提出予定日

2025年11月13日 配当支払開始予定日

2025年12月10日

決算補足説明資料作成の有無

: 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益	Ē	経常利	益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	24, 821	3. 0	800	△0. 2	941	0.3	635	△0.6
2025年3月期中間期	24, 097	4. 2	801	9.9	938	12. 0	639	12. 5
(注) 包括利益 2026年3月	期中間期	656百万円(8.7%)) 20	25年3月期中	間期	603百万円	2.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	76. 22	_
2025年3月期中間期	76. 65	_

(2) 連結財政状態

(ロ/ たがかが)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	36, 654	26, 732	72. 9
2025年3月期	35, 597	26, 268	73. 8
/ /: L:> / — += / /	_ ::- : ::- 00 700-		_ ::-

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 26,732百万円 2025年3月期 26,268百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2025年3月期	<u> </u>	22. 00	_	23. 00	45. 00				
2026年3月期	_	23. 00							
2026年3月期(予想)			_	23. 00	46. 00				

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\								
	売上高		営業利:	益	経常利:	益	親会社株主 する当期網		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50, 000	1.8	1, 520	△8.9	1, 770	△9.0	1, 200	△8.8	143. 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無② ①以外の会計方針の変更: 無③ 会計上の見積りの変更: 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

④ 修正再表示

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	9, 152, 640株	2025年3月期	9, 152, 640株
2026年3月期中間期	812, 426株	2025年3月期	812, 426株
2026年3月期中間期	8, 340, 214株	2025年3月期中間期	8, 340, 319株

: 無

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業 績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当た っての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報 に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績に関する説明	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績に関する説明

当中間連結会計期間 (2025年4月1日~2025年9月30日) における我が国経済は、一部に足踏みが残るものの雇用・所得環境などの改善により、景気はゆるやかな回復基調で推移しております。しかしながら、物価上昇の長期化による消費者マインドの下振れ等が個人消費に及ぼす影響、米国の通商政策の動向などがわが国の景気を下押しするリスクとなっており不透明な状況が継続しております。

このような経営環境のもと当社グループは、2030年を見据え「食をコアとしたマーケティング・ソリューションカンパニー〜豊かな食文化の地方創生に貢献する企業へ〜」をスローガンとし、「強い営業力で更なる深耕拡大」を2025年度の経営方針として掲げ、顧客のニーズを満たすため、セグメント業種を超えた商品開発や東北地産品の継続した販売拡大とその他の地域の地産商材の活用と推進を行ってまいります。また、これまで蓄積してきた顧客データを活用し、顧客ニーズに合った商品開発や営業活動の効率化をすすめております。

この結果、売上高248億21百万円(前年同中間期比3.0%増)、営業利益は8億円(同0.2%減)、経常利益は9億41百万円(同0.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億35百万円(同0.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、物価上昇の継続や人手不足とそれに伴う人件費コストの上昇傾向など当社の顧客を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。そのような中、当社では、「課題解決から食の未来へ。」を今年の展示会テーマとし、調理の省力化につながる食材や厨房設備等の提案、顧客に選ばれる高付加価値食材の提案などを主な訴求点として業種、地域毎に展示会を開催しております。メディカル業種では、調理現場の人手不足対応や、食材単価高騰の影響で主力食材の見直しなどによる引き合いの増加から好調に推移しております。また、製菓業種や外食業種でも各種イベントの活発化による観光客の増加で売上高は堅調に推移し、すべての業種で前年同期を上回る売上高となりました。人件費の増加などで販売管理費が増加したこともあり、結果、売上高216億33百万円(前年同中間期比4.1%増)、セグメント利益(営業利益)は10億43百万円(同1.5%減)となりました。

小売業部門におきましては、昨年より続く米価格の上昇や物価上昇の影響から消費者マインドが弱含んでいる状況がみられます。長期化する物価上昇の懸念から更に節約志向が高まっております。このような厳しい状況の中で、LINE会員向け新コンテンツ「満を持して新登場!!」を配信し、飲食店などのお客様に対して新メニューアイディアのヒント、人手不足を解決する時短料理の提案をすることで、固定顧客の獲得にもつながり好評を得ております。同時に開発商品を中心とした「これ!私たちの自信作」シリーズの配信と同時に、店頭においても専用の売り場を設け、実際にお客様に手に取っていただき、お買い得感、調理の楽しみやレパートリーの拡がりの参考にしていただき好評を得ております。また、主要顧客である中小飲食店向けには、継続して顧客のニーズや課題解決に向けた提案会の開催や試食販売等の販促活動を強化しております。また、2025年8月には、ツルハ店舗内店舗としては秋田中仙店を新規開店し、当社のツルハ店舗内店舗数は合計15店舗となりました。当社の認知度の向上、新規顧客を獲得するなど近隣のお客様に利便性の高い店舗であることを認知いただき好評を得ております。店舗の人員配置や、販促手法の費用対効果を見直すなどコスト削減につとめた結果、売上高31億87百万円(前年同中間期比4.1%減)、セグメント利益(営業利益)は1億65百万円(同24.4%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門			
製菓業種	(千円)	3, 873, 398	103. 7
弁当給食業種	(千円)	2, 204, 564	102.6
事業所給食業種	(千円)	1, 830, 898	100.7
メディカル給食業種	(千円)	3, 116, 099	106. 1
学校給食業種	(千円)	2, 005, 332	103. 2
外食業種	(千円)	3, 908, 449	104. 4
惣菜業種	(千円)	4, 074, 865	105. 1
その他	(千円)	620, 236	108. 1
計	(千円)	21, 633, 846	104. 1
小売業部門	(千円)	3, 187, 329	95. 9
合計	(千円)	24, 821, 175	103. 0

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億57百万円増加し、366億54百万円となりました。これは主に、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ5億93百万円増加し、99億22百万円となりました。これは主に、支払手形及び 買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億64百万円増加し、267億32百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益、並びに配当金の支払によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.9%(前連結会計年度末73.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ51百万円減少し、71億70百万円(前年同中間期95億88百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は10億34百万円(前年同中間期9億94百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億94百万円(前年同中間期8億32百万円の使用)となりました。これは主に、有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億92百万円(前年同中間期1億67百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。 なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 724, 149	2, 272, 980
受取手形及び売掛金	4, 826, 802	5, 338, 684
有価証券	7,000,000	7, 201, 794
商品	2, 980, 410	2, 932, 146
その他	612, 075	557, 469
貸倒引当金	△15 , 983	△10, 731
流動資産合計	17, 127, 454	18, 292, 344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 027, 274	1, 997, 033
土地	3, 589, 079	3, 780, 316
その他(純額)	1, 118, 796	1, 144, 432
有形固定資産合計	6, 735, 150	6, 921, 782
無形固定資産	148, 255	172, 961
投資その他の資産		
投資有価証券	9, 506, 389	9, 235, 926
その他	2, 087, 279	2, 041, 311
貸倒引当金	△7, 288	△9, 425
投資その他の資産合計	11, 586, 381	11, 267, 812
固定資産合計	18, 469, 786	18, 362, 557
資産合計	35, 597, 241	36, 654, 901
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6, 322, 914	6, 986, 964
短期借入金	683, 000	683, 000
未払法人税等	361,000	317, 700
賞与引当金	410, 655	429, 507
その他	1, 151, 121	1, 095, 828
流動負債合計	8, 928, 692	9, 513, 000
固定負債		
役員退職慰労引当金	208, 809	215, 633
退職給付に係る負債	62, 687	64, 740
資産除去債務	92, 229	92, 420
その他	36, 266	36, 212
固定負債合計	399, 994	409, 006
負債合計	9, 328, 686	9, 922, 007

(単代	· ·	千	Ш,	١

		(<u> </u>
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 405, 800	1, 405, 800
資本剰余金	1, 441, 744	1, 441, 744
利益剰余金	24, 318, 790	24, 762, 644
自己株式	△999 , 472	△999, 472
株主資本合計	26, 166, 862	26, 610, 716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49, 680	70, 882
退職給付に係る調整累計額	52, 011	51, 296
その他の包括利益累計額合計	101, 692	122, 178
純資産合計	26, 268, 555	26, 732, 894
負債純資産合計	35, 597, 241	36, 654, 901

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
売上高	24, 097, 485	24, 821, 175
売上原価	18, 697, 955	19, 322, 385
売上総利益	5, 399, 530	5, 498, 789
販売費及び一般管理費	4, 597, 733	4, 698, 490
営業利益	801, 796	800, 299
営業外収益		
受取利息	63, 593	88, 564
受取配当金	5, 947	7, 173
持分法による投資利益	8, 525	4, 831
受取賃貸料	53, 940	53, 374
その他	40, 392	17, 776
営業外収益合計	172, 399	171, 719
営業外費用		
支払利息	1, 259	2, 121
賃貸収入原価	34, 730	23, 783
その他		5,000
営業外費用合計	35, 990	30, 904
経常利益	938, 205	941, 113
特別損失		
固定資産除却損	1, 385	3, 317
特別損失合計	1, 385	3, 317
税金等調整前中間純利益	936, 819	937, 795
法人税、住民税及び事業税	274, 681	291, 752
法人税等調整額	22, 883	10, 364
法人税等合計	297, 565	302, 117
中間純利益	639, 254	635, 678
親会社株主に帰属する中間純利益	639, 254	635, 678

(中間連結包括利益計算書)

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年4月1日	(自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
中間純利益	639, 254	635, 678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34, 074	21, 201
退職給付に係る調整額	$\triangle 1,767$	△715
その他の包括利益合計	△35, 841	20, 485
中間包括利益	603, 412	656, 164
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	603, 412	656, 164
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:千円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u> </u>
税金等調整前中間純利益	936, 819	937, 795
減価償却費	192, 724	178, 300
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39, 134	6, 823
賞与引当金の増減額(△は減少)	28, 710	18, 851
受取利息及び受取配当金	△69, 541	△95, 737
支払利息	1, 259	2, 121
持分法による投資損益(△は益)	△8, 525	△4, 831
固定資産除却損	1, 385	3, 317
売上債権の増減額(△は増加)	132, 629	△511, 882
棚卸資産の増減額(△は増加)	△100, 236	48, 525
仕入債務の増減額 (△は減少)	$\triangle 1,605,279$	664, 049
その他	△189, 121	21, 428
小計	△718, 310	1, 268, 762
利息及び配当金の受取額	80, 561	102, 688
利息の支払額	△1, 338	△2, 116
法人税等の支払額	△355, 583	△334, 350
営業活動によるキャッシュ・フロー	△994, 671	1, 034, 982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	_	$\triangle 1,500,000$
有価証券の償還による収入	500, 000	1, 000, 000
有形固定資産の取得による支出	△420, 794	△349, 217
無形固定資産の取得による支出	△6, 219	△51, 215
投資有価証券の取得による支出	△900, 598	△597
その他	△5, 238	6, 93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832, 849	△894, 099
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△166, 806	△191, 824
その他	△222	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167, 028	△192, 053
見金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1, 994, 549	△51, 169
見金及び現金同等物の期首残高	11, 583, 539	7, 221, 621
見金及び現金同等物の中間期末残高	9, 588, 990	7, 170, 452

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	中間連結 損益計算書
	卸売業部門	小売業部門	口目	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	20, 773, 069	3, 324, 416	24, 097, 485	_	24, 097, 485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_
計	20, 773, 069	3, 324, 416	24, 097, 485	_	24, 097, 485
セグメント利益	1, 059, 576	133, 462	1, 193, 038	△391, 242	801, 796

- (注) 1. セグメント利益の調整額△391,242千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - 2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	中間連結損益計算書
	卸売業部門	小売業部門	H #1	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	21, 633, 846	3, 187, 329	24, 821, 175	_	24, 821, 175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_
計	21, 633, 846	3, 187, 329	24, 821, 175	_	24, 821, 175
セグメント利益	1, 043, 166	165, 996	1, 209, 162	△408, 863	800, 299

- (注) 1. セグメント利益の調整額△408,863千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - 2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。